

2019 年度第 1 回湖鳥会理事会議案

日時：2019 年 5 月 27 日（月）18:00-20:00

場所：鳥取大学広報センター 2 階スペース D, E

審議事項

1. 2018 年度第 1 回湖鳥会理事会議事録（理事会 2019-1-2）
2. 2018 年度活動報告（理事会 2019-1-3）
3. 2018 年度各期役員について（理事会 2019-1-4）
4. 2018 年度会計報告及び監査報告（理事会 2019-1-5）
5. 会則変更について（理事会 2019-1-6）
6. 学費援助奨学金の新設について（理事会 2019-1-7）
7. 国際会議海外渡航費用助成内規変更について（理事会 2019-1-8）
8. 2019 年度の活動について（理事会 2019-1-9）
9. 2019 年度理事会役員について（理事会 2019-1-10）
10. 2019 年度予算案（理事会 2019-1-11）
11. その他

2018年度第1回湖鳥会理事議事録（案）

日時：2018年11月23日（土）15:30-17:30

場所：鳥取県民ふれあい会館小研修室（鳥取市扇町21番地）

出席：吉田和行，岡垣光則，笹間俊彦，松岡良明，山方秀則，吉村宏紀，笹岡直人（敬称略）

審議事項

1. 2017年度第1回湖鳥会理事会議事録（理事会2018-1-2）
2017年度第1回湖鳥会理事会議事録について承認された。
2. 2017年度活動報告（理事会2018-1-3）
活動報告について承認された。
3. 2017年度各期役員について（理事会2018-1-4）
2017年度各期役員について承認された。
4. 2017年度会計報告及び監査報告（理事会2018-1-5）
2017年度会計報告及び監査報告について承認された。
5. 国際会議のための海外渡航費用助成事業申請書類の一部変更（理事会2018-1-6）
 - ・申請書類の簡素化について承認された。
 - ・助成額について下記のとおり変更することが承認された。
助成金総額上限を20万円とする。1人につき下限3万円、上限5万円とし、該当者が4名以下の場合は1人5万円、該当者が5名の場合は1人4万円、該当者が6名の場合は1人3万円とする。
6. 2018年度の活動について（理事会2018-1-7）
 - ・同窓会ホームページサーバを学科サーバに移す方向で検討することが承認された。
 - ・前年度の理事会で提案された卒業記念品は授与しないことにする。
7. 2018年度理事会役員について（理事会2018-1-8）
2018年度理事会役員について承認された。
8. 2018年度予算案（理事会2018-1-9）
 - ・理事会後の懇親会補助（1人3,000円）が承認された。
 - ・レンタルサーバ費用及び卒業記念品費用を削除。
9. その他
 - ・工学部同窓会でプライバシーポリシーを検討している。湖鳥会は名簿情報の相互利用を認め、工学部同窓会に準ずるプライバシーポリシーを今後検討することになった。
 - ・入会金徴収時期を、2020年度入学生から学部入学時に変更することとなった。それに伴い会則の変更が必要であることから、2019年度中に総会を開催することとなった。

2018 年度活動報告

1. 入会手続及び各期役員選出

入会状況： 学部卒業生 61名（入会率：53.5% ， 全卒業生 114名）

2. 国際会議のための海外渡航費用助成

松永崇秀氏

持続性社会創生科学研究科工学専攻 博士前期課程 2年

国際会議：40th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society

開催地：ホノルル，ハワイ

開催日：2018年7月17日～21日

助成金額：5万円

各期役員（卒業生代表者）一覧

●2015 年度入学（2018 年度卒業生）代表者

井田 貴大（第 1 回電気情報系）
幡中悠一郎（第 1 回電気情報系）
柵木 洋平（第 1 回電気情報系）
三上 弦起（第 1 回電気情報系）

本山 達也（第 21 回電気電子）

●2008 年度入学（2011 年度卒業生）代表者

森山 拓洋（第 20 回電気電子）
秋山 章雅（第 20 回電気電子）

●2014 年度入学（2017 年度卒業生）代表者

赤松 英治（第 26 回電気電子）
松田 崇行（第 26 回電気電子）
青山 瑛祐（第 26 回知能）
中島 浩輔（第 26 回知能）

●2007 年度入学（2010 年度卒業生）代表者

安田 圭佑（第 19 回電気電子）
前島 隆之（第 19 回電気電子）

●2013 年度入学（2016 年度卒業生）代表者

内村 優太（第 25 回電気電子）
大田 祐輔（第 25 回電気電子）
磯本 佳助（第 25 回知能）
濱岡 達哉（第 25 回知能）

●2006 年度入学（2009 年度卒業生）代表者

田中 隼人（第 18 回電気電子）
三田 睦（第 18 回電気電子）

●2005 年度入学（2008 年度卒業生）

北見 尚久（第 17 回電気電子）
田中 健（第 17 回電気電子）

●2012 年度入学（2015 年度卒業生）代表者

三好 雄也（第 24 回電気電子）
市橋 翼（第 24 回電気電子）
高山 隼輔（第 24 回知能）
八木 良太（第 24 回知能）

●2004 年度入学（2007 年度卒業生）代表者

河野 光（第 16 回電気電子）
稲垣 雄介（第 16 回電気電子）

●2011 年度入学（2014 年度卒業生）代表者

青木 智宏（第 23 回電気電子）
服部 雅史（第 23 回電気電子）
中川 剛毅（第 23 回知能）
澤田 拓也（第 23 回知能）

●2010 年度入学（2013 年度卒業生）代表者

井上 涼太（第 22 回電気電子）
畑山 進也（第 22 回電気電子）

●2009 年度入学（2012 年度卒業生）代表者

横田 瑛三郎（第 21 回電気電子）

学費援助奨学金制度に関する内規（案）

1. （目的および対象者）本奨学金は、鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会（湖鳥会）会則第2条に基づいて、準会員で、失職、破産、事故、病気、死亡等もしくは火災、風水害等の災害等により家計が急変し、緊急の奨学金の必要が生じた者（以下、緊急措置学生と称す）に対して就学に必要な経費の一部の貸与を目的とする。
2. （運用資金）本奨学金制度の経費は、湖鳥会の運営費の一部をもって充てる。
3. （審査会）奨学金の採択審査は、申請書類に基づいて審査会で行われるものとする。なお、審査会は申請書類の提出を受け、速やかに開催されるものとする。
4. （審査会の構成委員）審査会は、湖鳥会の幹事で構成するものとする。なお、幹事の推薦により湖鳥会の理事を審査委員に任命できるものとする。
5. （審査方法）採択審査は、申請書類ならびに運用資金を総合的に考慮して行われるものとする。
6. （返済期間）卒業または修了後、2年間以内に完了することとする。ただし、鳥取大学の学籍を有する間は、返済を猶予する。
7. この内規は、令和元年5月27日から適用する。

学費援助奨学金制度に関する運用内規（案）

1. （運用資金額）年間の運営資金は、鳥取大学半期授業料相当額程度とする。
2. （申請書類の内容）奨学金の貸与希望者は、申請書（様式－1）を当該学科の幹事に提出する。
3. （募集期間）募集期間は、緊急奨学生の場合には随時行う。
4. （審査会の時期）緊急奨学金の申請があった場合には、随時に審査会を開催できることとする。
5. （審査結果の公表時期）審査結果の公表時期は、審査会の翌日とする。
6. （奨学金の貸与時期と金額）奨学金の貸与時期は、審査結果の公表日に申請額を全額貸与する。奨学生は、奨学金受領後、直ちに借用書（様式－2）を幹事に提出する。
7. （奨学金の上限額）1人につき鳥取大学半期授業料相当額までとする。
8. （奨学金の返済方法）奨学金受領時に返済計画書（様式－3）を幹事に提出する。なお、卒業または修了時に、返済計画書の変更（再提出）を可能とする。住所、氏名などが変更となった場合、直ちに転居・改氏名届（様式－4）を鳥取大学工学部同窓会に提出する。
9. （借用書の返還）奨学金の返済を完了した者には、借用書を返還する。
10. この運用内規は、令和元年5月27日から適用する。

学費援助奨学金申請書

申請年月日 年 月 日

氏名	印	学科名 もしくは 専攻及び コース名	学生 番号
現住所	〒		
帰省先	〒 (方)		
TEL		E-mail	
申請理由			
申請金額	円		
指導教員（または学科長、学級教員）の署名	印		

湖鳥会より貸与された奨学金は、卒業もしくは修了後2年以内に全額を返済することとする。

湖鳥会学費援助奨学金借用書

鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会 様

借用金額	円		
鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会学費援助奨学金生として、上記の金額を借用しました。利息は無利子とします。卒業もしくは修了後2年以内に奨学金を全額返済します。			
令和 年 月 日			
借主	氏名	印	
	学科名 または 専攻及び コース名	学生番号	
	現住所	〒 _____	
	E-mail		
	電話番号		
連帯保証人	氏名	印	
	現住所	〒 _____	
	E-mail		
	電話番号		

湖鳥会奨学金返済計画書

氏 名	印		
卒業学科名 または 修了専攻及び コース名		卒業年 または 修了年	年 月
奨 学 金 額		返 済 期 間	ヶ月 (年 月 ~ 年 月)
	円		
返 済 方 法	返済月賦額 円 最終月賦額 円 を銀行振込にて返済します。		
卒業・修了後 の連絡先	〒 TEL:		
	E-mail:		
勤 務 先	TEL:		
連帯保証人	氏 名 住 所 〒		

国際会議のための海外渡航費用助成制度に関する内規（案）

1. （目的および対象者）本助成は、鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会会則第2条に基づいて、鳥取大学に在学中もしくは卒業、修了後1年以内の正会員及び準会員に対して、国際会議において研究発表するための海外渡航費用の一部を助成することを目的とする。
2. （運用資金）本助成制度の経費は、鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会の運営費の一部をもって充てる。年間の助成金総額上限は、20万円とする。
3. （審査会）奨学金の採択審査は、申請書類に基づいて審査会で行われるものとする。なお、審査会は年1回開催されるものとする。
4. （審査会の構成委員）審査会は、鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会の幹事が併任する。学内幹事のうち1名を審査委員会委員長とし、委員長の推薦により鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会の理事会役員を審査委員に任命できるものとする。
5. （審査方法）採択審査は、審査基準に基づいた優先順位ならびに運用資金を総合的に考慮して行われるものとする。
6. この内規は令和元年5月27日から適用する。

国際会議のための海外渡航費用助成制度に関する運用内規（案）

1. （対象となる国際会議及び申請の制限）前年度1月1日から当年度12月31日に海外において開催される国際会議とする。また、本制度は国際会議発表者を対象とするため、1つの論文につき、申請できる対象者は1名である。
2. （募集期間）募集期間は、当年度12月1日から1月10日とする。
3. （申請書類の内容）助成申請者は、下記を審査委員長に提出する。
 - ・申請書（様式－1）
 - ・論文1ページ目のコピー（タイトル、著者、学会名が明記されていること。学会名が記載されていない場合は、Proceedings もしくは Abstract 集の表紙コピーも提出）
4. （審査会の時期）審査会は、1月中旬に開催する。なお、メールなどによる審議も可能とする。
5. （審査結果の公表時期）審査結果の公表時期は1月下旬までに行う。
6. （助成額）助成金総額上限を20万円とする。1人につき下限3万円、上限5万円とし、該当者が4名以下の場合は1人5万円、該当者が5名の場合は1人4万円、該当者が6名の場合は1人3万円とする。
7. （審査基準）申請書類に基づき、以下に示す申請者の論文掲載著者順ならびに論文発表した国際会議の採択率による点数を合計し、上位20名を助成対象者とする。
 - ・論文掲載著者順
 - ・第1著者・・・20点
 - ・第2著者・・・15点
 - ・第3著者・・・10点
 - ・第4著者・・・5点
 - ・第5著者以降・・・0点
 - ・国際会議採択率
 - ・申請された国際会議のうち、採択率が一番低いものを20点満点とし、採択率の昇順に1点ずつ減点する。
 - ・採択率が不明な場合は0点とする。
8. （申請書記載内容の掲載）申請書記載の氏名、所属、学年、国際会議情報、論文情報、国際会議参加に対する感想は、鳥取大学工学部電気情報系学科同窓会会報に掲載する場合がある。
9. この運用内規は令和元年5月27日から適用する。

2019 年度湖鳥会活動予定（案）

1. 総会及び電気情報系学科創立 50 周年同窓会

- ・ 日程案：8 月 24 日（土）
 - ・ 総会：16:00~
 - ・ 学科創立 50 周年同窓会（懇親会）：18:30~
- ・ 場所：（総会）鳥取大学湖山キャンパス内
（懇親会）ホテルモナーク鳥取（仮予約済み）
- ・ 総会議題
 - ・ 会則変更
 - ・ 入会金徴収方法の変更（卒業時から入学時に変更）
 - ・ 理事会審議方法追加（メールによる審議を追加）
 - ・ 会長が指定する重要議題は案件ごとに議決権行使可能とする（ハガキ，ウェブ回答）
 - ・ 会則変更を総会ではなく，理事会で可能とする。
- ・ 学科 50 周年同窓会
 - ・ 式次第案
 1. 同窓会会長挨拶及び乾杯
 2. 旧教員，卒業生一言
 3. 閉めの挨拶
 - ・ 主催等
 - ・ 主催：湖鳥会
 - ・ 共催：電気情報系学科（ただし，金銭，人的負担は求めない）
 - ・ 懇親会に出席可能な方は出席していただく
 - ・ 協賛：工学部同窓会
 - ・ 仕事分担
 - ・ とりまとめ：笹岡
 - ・ 各仕事：学生バイトを数名雇う
 - ・ 当日受付：学内幹事の先生
 - ・ 出欠集計：小野高速印刷
 - ・ 予算
 - ・ 収入合計：24 万円
 - ・ 懇親会参加費：240,000 円
 - ・ 支出合計：57 万 5 千円（うち同窓会負担：33 万 5 千円）
 - ・ 総会案内状送付：300,000 円（同窓会負担）
 - ・ 名札作成：5,000 円（同窓会負担）
 - ・ 会場等準備アルバイト：30,000 円（時給 1000 円*10 時間*3 人）（同窓会負担）
 - ・ 懇親会費：240,000 円

2. 電気情報系学科創立50周年関東地区同窓会

- ・日程：12月14日（土）13:00~15:30（予約済み）
 - ・学科報告会：13:00~13:30
 - ・同窓会：13:30~15:30
- ・場所：東海大学交友会館（東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階）
- ・式次第案
 1. 同窓会会長挨拶及び乾杯
 2. 旧教員，卒業生一言
 3. 閉めの挨拶（副会長？）
- ・主催等
 - ・主催：湖鳥会
 - ・共催：電気情報系学科（ただし，金銭，人的負担は求めない）
 - ・出席可能な方は自費で出席.
 - ・協賛：工学部同窓会
- ・旅費について：学科長，同窓会長の交通費を支給

- ・仕事分担
 - ・とりまとめ：笹岡
 - ・会場予約：伊藤，川端（湖鳥会副会長）
 - ・当日司会進行：笹岡
 - ・各仕事：学生バイトを数名雇う
 - ・当日受付：岸田，関東地区在住湖鳥会理事
 - ・出欠集計：小野高速印刷

- ・予算
 - ・収入合計：24万円
 - ・懇親会参加費：240,000円（1人8,000円）
 - ・支出合計：55万円（うち同窓会負担：31万円）
 - ・総会案内状送付：120,000円（同窓会負担）
 - ・名札作成：5,000円（同窓会負担）
 - ・準備アルバイト：15,000円（時給1000円*5時間*3人）（同窓会負担）
 - ・交通費：100,000円
 - ・懇親会費：240,000円
 - ・会場備品：70,000円

3. サーバ更新及びホームページ更新 (担当：吉村, 笹岡)
 - ・ 学科サーバにおいた場合 URL が下記のようなになる.
<http://labs.eecs.tottori-u.ac.jp/kocyokai>
4. 会報発行 (担当：岸田)
5. 国際会議のための海外渡航費用助成事業 (担当：岸田)
6. 入会手続及び各期役員選出 (担当：笹間, 笹岡)
7. その他

湖鳥会理事会役員一覧

1. 幹事及び理事の就任, 退任について

・退任

【理事】 畑 博道 (第5回電気)

2. 2018年度理事会役員(案)

【会長】 吉田 和行 (第4回電気)

【副会長】 川端 哲男 (第2回電気)

堂前 靖彦 (第7回知能)

【監査】 松岡 良明 (第1回電気)

安藤 泰正 (第20回知能)

【幹事】 加納 尚之 (第17回電気)

田中 堅太郎 (第7回電子)

藤村 喜久郎 (第14回電子)

西浦 順一 (第15回電子)

有岡 正登 (第17回電子)

大木 誠 (第18回電気)

笹岡 直人 (第10回電気電子)

吉村 宏紀 (第1回知能)

笹間 俊彦 (第3回知能)

【理事】 松本 昭夫 (第2回電気)

安木 秀明 (第3回電気)

奥田 和基 (第4回電気)

山下 政美 (第4回電気)

石田 義則 (第5回電気)

川上 孝志 (第6回電気)

深田 哲司 (第6回電気)

原田 光夫 (第7回電気)

清水 恵 (第9回電気)

宮脇 一彦 (第9回電気)

大賀 昌二 (第10回電気)

表 則夫 (第13回電気)

岸田 達治 (第14回電気)

竹内 克徳 (第14回電気)

吉田 清春 (第15回電気)
米村 幸雄 (第16回電気)
里 友成 (第17回電気)
山方 秀則 (第17回電気)
立花 慶治 (第18回電気)
山根 一博 (第18回電気)
原 雅人 (第19回電気)
豆田 順一 (第1回電子)
村上 博 (第1回電子)
寺谷 茂樹 (第3回電子)
岸田 悟 (第4回電子)
山根 幹仁 (第6回電子)
岡本 公夫 (第8回電子)
河原 宏之 (第8回電子)
桑田 孝明 (第8回電子)
岡垣 光則 (第9回電子)
原川 藤夫 (第10回電子)
三木 公保 (第11回電子)
椎木 正敏 (第12回電子)
西村 晋 (第13回電子)
小林 盛一郎 (第14回電子)
福島 淳 (第14回電子)
村上 誠 (第18回電子)
吉田 幹也 (第5回知能)
玉川 裕康 (第8回知能)

*参考

【顧問】 鷺見 育亮 (第1回電気)
中川 匡夫 (電気情報系学科長)

(敬称略)